

体験活動参加型（幼稚園）

学校名等	本巣市立弾正幼稚園
実施日時	平成30年11月7日（水）10時00分～11時30分
会場	弾正幼稚園 しんせい運動公園
参加人数	保護者約100名 乳幼児約130名
学習課題（分野）	親子サッカー教室（子どもの健康）
運営者の願い	本巣市は乳幼児期から運動を体験するようにしている。乳幼児期運動が人生を決める。今までのFC岐阜サッカー教室は、年長の子どものみであったが、年少・年中・保護者を含めての教室をお願いした。園と協力して保護者の運動への理解を進めたいとの願いでの家庭教育学級である。

学習の内容

＜講師：FC岐阜スクールコーチ 岩崎真央氏 三ヶ月宏氏＞

FC岐阜のコーチは女性がマヨネーズコーチ、男性がみかんコーチと言う呼び名で、乳幼児が覚えやすい表現をされていた。すべての運動の見本を見せながら、親子で動きやすい説明だった。

一つの動きを年齢に応じて短くしたり、一つの動きの応用をしたりと飽きさせない。子どもの様子を見ながら、動きやルールを加えていくため、運動の幅が広がっている。



●活動は年中・年少・年長の順で30分ぐらいのメニューであり、年齢に応じて親子で楽しく進めている。特に父親は動きが大きく、汗をかいている人が多い。

- ・年中さん：親子遊び・親子でボール運動、ジャンケン列車、サッカーボール運動、ゴール練習で、最後に親も入ってのゲーム。
- ・年少さん：親子遊び、親子ボール遊びを中心に、最後はゴール練習。
- ・年長さん：親子遊びが短く、ボール運動からゴール練習、子どもだけのミニゲーム。
- ・活動の中で、ボールをもらったうれしそうに見ている子がいたり、すぐ、足でボールに慣れる動きをしたりする子もいて、サッカーの練習ができる子もいたりする。
- ・年中児、年少児、年長児を見ていると、ボールにすぐに慣れることがわかる。
- ・親子の活動でも運動量が多く、とても楽しそうな雰囲気だった。

＜閉会＞

幼児の様子：楽しかった。「頑張った子」というところでの挙手が多い。「もっとやりたい子」という挙手も多く、運動好きであることがよく分かる。

＜運動後保護者の感想＞

年中：・うまい子がいてびっくり

・暑い、疲れた。（父親）

・楽しいです。子どもが楽しそうなのを観ていて楽しい。

年少：小さくて動きに慣れなくて、ボールが離れると手でつかもうとしてしまうので、足だけでやるという約束が入っても、楽しくやっていたので親としても楽しく参加できた。

年長：親子でふだん家ではやれないサッカーが出来て、楽しむことができよかった。クラスみんなで試合が出来て楽しそうでよかった。



手をつないで楽しそうに走っています。ドリブルできてますね。



反応が早く、親より先にボールを抑えています。すごいね！楽しい！



ボールに対しての体の傾け方がとてもうまいですね。かっこいい！



運動好きになれる！

・動きの習得だけでなく、動きへの躊躇や恐れがないことは、保護者がいるというだけでなく、運動に親しむことが出来ているからだと感じました。

・この中で保護者の理解が進むことで、この子どもたちがどのように育っていくのが楽しみですね。

